

研究課題名：がん患者に発症する心血管疾患・脳卒中の早期発見・  
早期介入に資する研究（23E1036）  
研究代表者：小室 一成

## アンケート調査結果

- 全国がん患者団体連合会

1

1

### 方法

対象者：全国がん患者団体連合会の会員

研究方法：全国がん患者団体連合会から会員へ電子メールで「アンケート調査へのご協力をお願い」を配布。「アンケート調査へのご協力をお願い」には概要説明とともに、Google FormのURLとQRコードが記載されている。Google Formでは、概要説明の後に、研究に用いる情報の取得に関する同意のチェック欄を設定し、同意のチェックを得るような形となっている。

回答期間：2025年3月10日（月）～2025年3月23日（日）

2

2

## 結果

回答数：230件

- 全国がん患者団体連合会：加盟団体53団体、加盟団体会員総数およそ2万人
- 「高額療養費制度の負担上限額引き上げ反対に関するアンケート」の回答：3,623人（3日間）

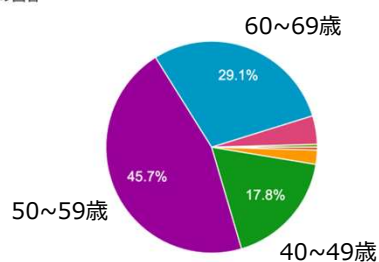
3

3

## 1. 回答者の背景

### Q1-1：年齢

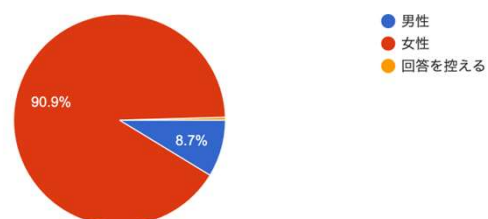
230 件の回答



- 40~69歳で92.6%

### Q1-2：性別

230 件の回答



- 圧倒的に女性が多い

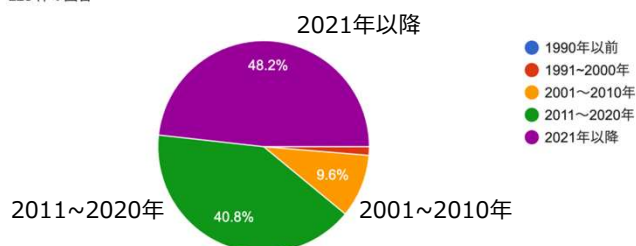
→ バイアスあり、全国がん患者団体連合会の会員の年齢や性別の構成を問い合わせる（可能なら）

4

4

## Q1-3：がんと診断された時期

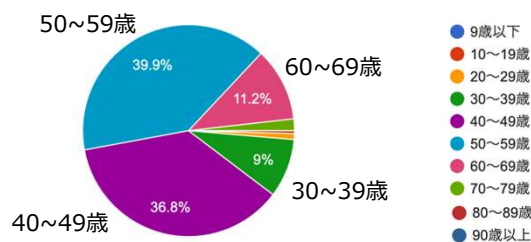
228 件の回答



- 診断後4年以内と14年以内がほとんど
- 診断後15年以上も9.6%

## Q1-4：がんと診断された年齢

223 件の回答



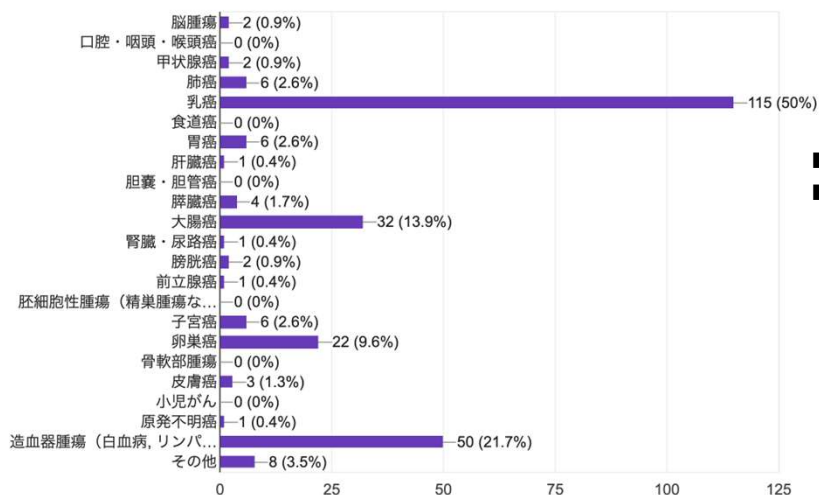
- 40～69歳が87.9%
- 小児・AYAがんが9.9%

5

5

## Q1-5：がんの種類

230 件の回答



- 乳癌 50%
- 造血器腫瘍 > 大腸癌 > 卵巣癌と続く

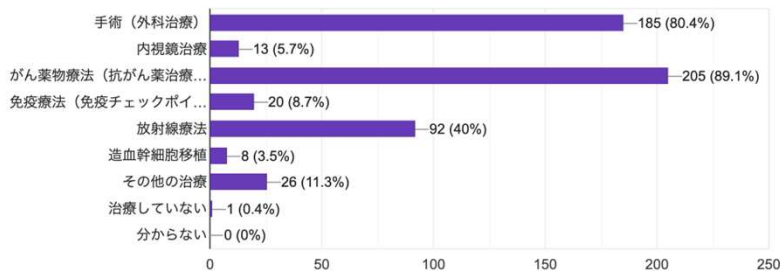
→ がん罹患数は、肺 > 大腸 > 膵臓 > 胃 > 肝臓  
生存率、全がん連の会員構成、アンケート回答率によるバイアスあり

6

6

## Q1-6：がんの治療（複数回答可）

230 件の回答



- 大部分が手術（80.4%）、がん薬物療法（89.1%）を受けている
- 放射線療法（40%）
- 免疫療法（8.7%）

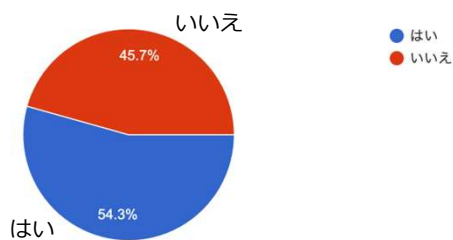
7

7

## 2. 腫瘍循環器・腫瘍脳卒中の認識

Q2-1：がんやがん治療によって、脳卒中や循環器疾患（心臓・血管の病気）が発症する危険性が高まることをご存知でしたか？

230 件の回答



- 半数強（54.3%）が認識あり

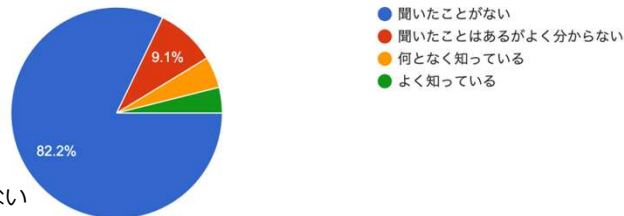
→ 乳癌（50%）や造血器腫瘍（21.7%）が多いことも影響か？  
各がんの種類別の検討が必要

8

8

Q2-2：がん患者さんにおける心臓・血管の病気や合併症に対する最善の医療を目指して腫瘍循環器学（Cardio-Oncology/Onco-Cardiology）の取り組みが始まっています。「腫瘍循環器」または「腫瘍循環器科」という言葉を聞いたことがありますか？

230 件の回答



聞いたことがない

- 大多数（82.2%）が「聞いたことがない」
- 「何となく知っている」「よく知っている」は8.7%

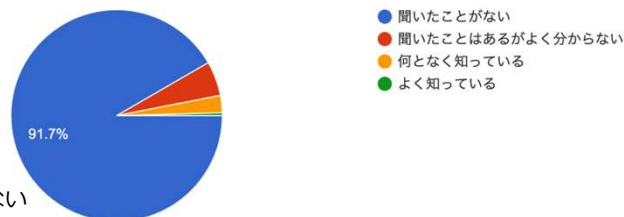
→ 診療科として標榜している施設はほとんどないためか、患者さんへは浸透していない一般の方々への啓発活動が必要

9

9

Q2-3：がん患者さんにおける脳卒中の治療に対する最善の医療を目指して腫瘍脳卒中学（Stroke Oncology）の取り組みが始まっています。「腫瘍脳卒中」または「腫瘍脳卒中科」という言葉を聞いたことがありますか？

228 件の回答



聞いたことがない

- 大多数（91.7%）が「聞いたことがない」
- 「何となく知っている」「よく知っている」は2.6%

→ 「腫瘍循環器」と「腫瘍脳卒中」の回答が同一あるいは類似している場合が多い「腫瘍循環器」の方が「腫瘍脳卒中」よりも認知されている

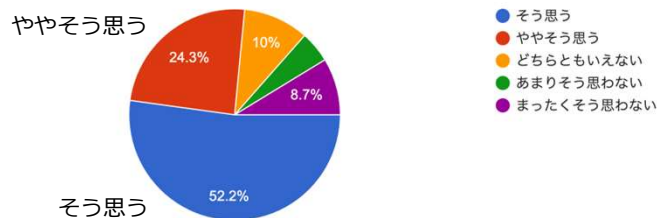
10

10

### 3. 腫瘍循環器・腫瘍脳卒中への期待や希望

Q3-1：心臓・血管の合併症や脳卒中のリスクについて、がん治療前に十分な説明があった方が良いと思われませんか？

230 件の回答



■ そう思う（52.2%）、ややそう思う（24.3%）で合計76.5%

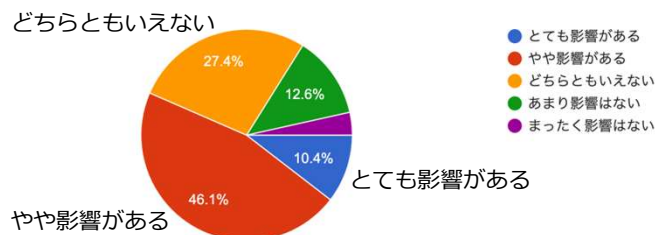
→ 心血管合併症や脳卒中のリスクについて、十分な説明を希望されている

11

11

Q3-2：心臓・血管の合併症や脳卒中のリスクがあると分かると、不安が強くなり、がん治療法の選択や継続に影響する可能性がありますか？

230 件の回答



■ とても影響がある（10.4%）、やや影響がある（46.1%）で合計56.5%

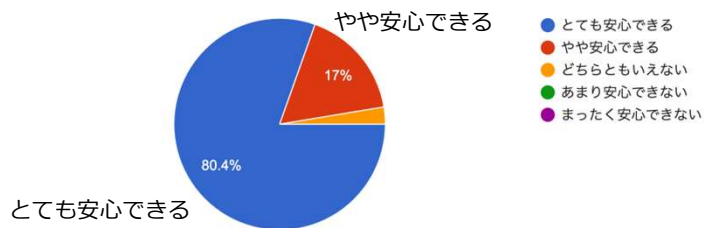
→ 心血管合併症や脳卒中のリスクへの不安は大きい

12

12

### Q3-3：心臓・血管の合併症や脳卒中のリスクがあると知った場合に、腫瘍循環器科や腫瘍脳卒中科による対応やフォローがあると安心できますか？

230 件の回答



■ とても安心できる（80.4%）、やや安心できる（17%）で合計97.4%

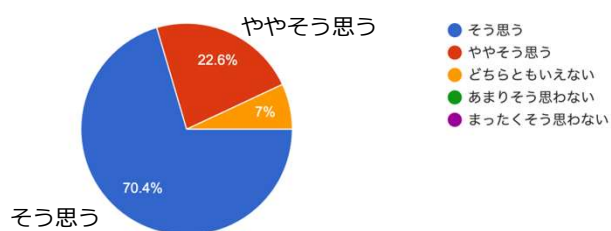
→ ほとんどの患者さんが、安心してがん治療を受けるために、腫瘍循環器科や腫瘍脳卒中科の対応を期待されている

13

13

### Q3-4：腫瘍循環器科や腫瘍脳卒中科の診療対応が可能な病院でがん治療を受けたいと思いますか？

230 件の回答



■ そう思う（70.4%）、ややそう思う（22.6%）で合計93%

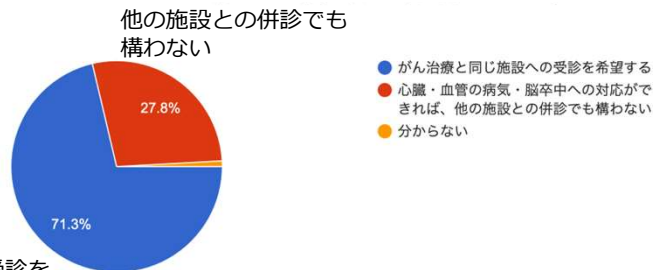
→ ほとんどの患者さんが、腫瘍循環器科や腫瘍脳卒中科の診療対応が可能な病院でのがん治療を望んでいる

14

14

### Q3-5：がん治療後のサバイバーシップにおいても、脳・心臓・血管リスクの長期フォローアップが必要となる場合があります。そのようなフォローアップを、がん治療と同じ施設で受けることを希望しますか？

230 件の回答



同じ施設への受診を希望する

- 「同じ施設への受診を希望する」が大部分（71.3%）
- 「他の施設との併診でも構わない」も27.8%

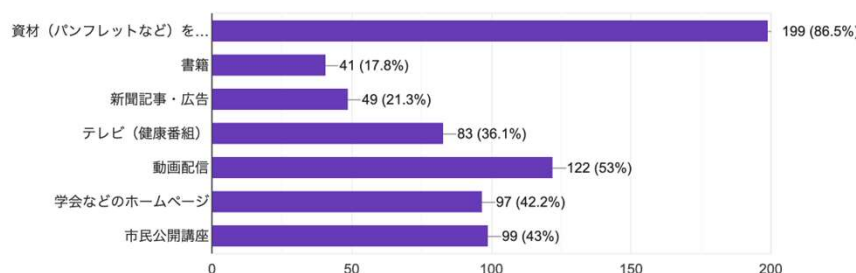
→ 長期フォローアップに対応できる受け皿となる施設を増やすことが必要

15

15

### Q3-6：がん患者さんにおける脳・心血管リスクについて、どのような方法で情報を得られれば良いと思いますか？（複数回答可）

230 件の回答



- 資材（パンフレット）の作成とがん診療施設への配布が最重要  
 学会HPの充実や、動画配信、市民公開講座など、学会活動のさらなる活性化が必要  
 テレビ（健康番組）や新聞記事・広告などのメディアを使った啓発活動も必要

16

16

Q3-7：腫瘍循環器・腫瘍脳卒中への期待や希望があったらご記載ください。  
（自由記載）

回答数：102件

→ 別途のxlsxファイルに記載

17

17

### 赤澤先生コメント

- ・回答数が230件と少ない
- ・回答は女性が圧倒的に多く、乳癌>大腸癌>造血器腫瘍の経験者の順
- ・がん治療による循環器疾患・脳卒中のリスクが高まることは、約半数が認識
- ・大多数が腫瘍循環器、腫瘍脳卒中という言葉聞いたことがない
- ・がん治療前に心血管合併症や脳卒中のリスクについて十分な説明を希望する一方で、それらへの不安は大きい
- ・安心してがん治療を受けるために、腫瘍循環器科や腫瘍脳卒中科による対応を期待している
- ・腫瘍循環器や腫瘍脳卒中の診療対応ができる施設でがん治療の施設で受けたいが
- ・がん治療後のフォローアップは、がん治療と同じ施設で受けたいが大部分であるが、他施設との併診でも構わないとの回答も多い
- ・心血管、脳リスクについては、資料（パンフレット）を用いた説明が最も望まれていて、学会HPや動画配信、市民公開講座、テレビや新聞記事などのメディアからの情報が期待されている

18